Web.JaSST 2017 Tokyo

QAが主導する仕様改善について

自己紹介



ユニファ株式会社 システム開発部 鶴岡 洋子 (つるおかようこ)

入社1年5か月。

株式会社ミクシィ、トライコーン株式会社を経て現職。 主にWebサービスのQAに従事。



ユニファ株式会社

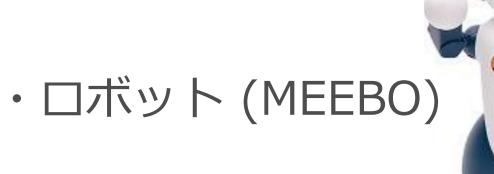
- 2013年5月 設立
- ・従業員数 32名
- 平均年齢 34.3歳
- リモートワーク可

事業紹介

・写真販売サービス「るくみー」



・デジタル連絡帳サービス 「るくみーnote」





保育園や幼稚園で写真が販売されている様子



幼稚園·保育園 写真販売サービス「るくみー」 習い事教室 111547/ 6 写真攝影 LOOK ME 5 2 写真郵送 写真を アップロード 4 写真現像 父兄・遠方の 閱覧·注文 祖父母も BtoBtoCの事業

保育士の特徴

- 待機児童問題
- ・保育園不足、保育士不足
- 仕事がとにかく忙しい
- ・パソコンやスマホに不慣れな先生も



→ その中で使ってもらうシステムなので ユーザビリティが大事

登場人物

システム開発部

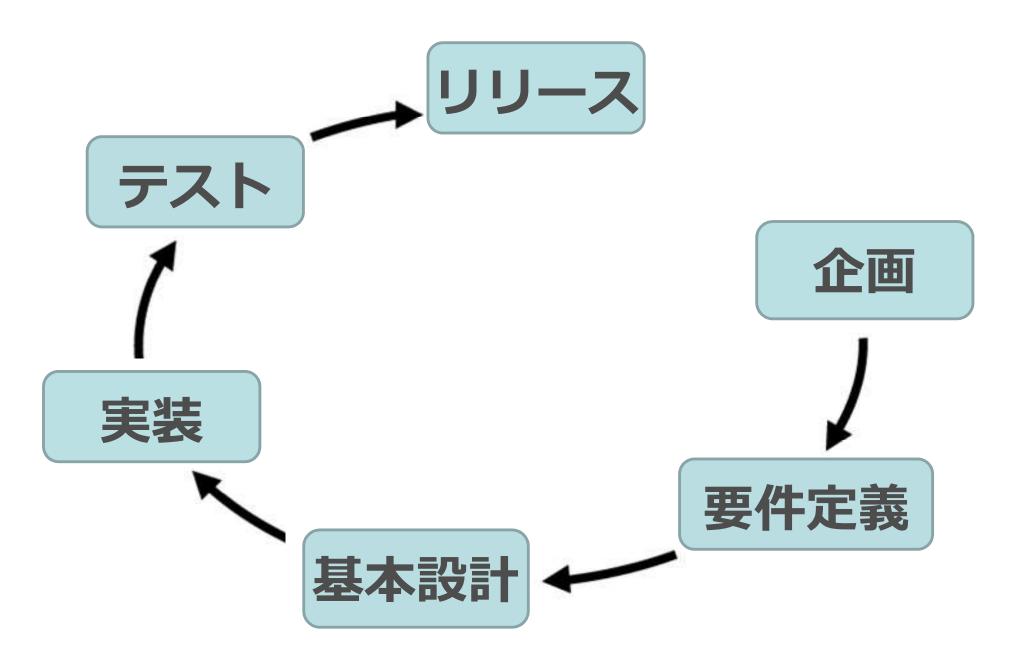
- ・Webエンジニア 9名
- ・スマートフォンエンジニア 3名
- ・QA 1名

サポートチーム

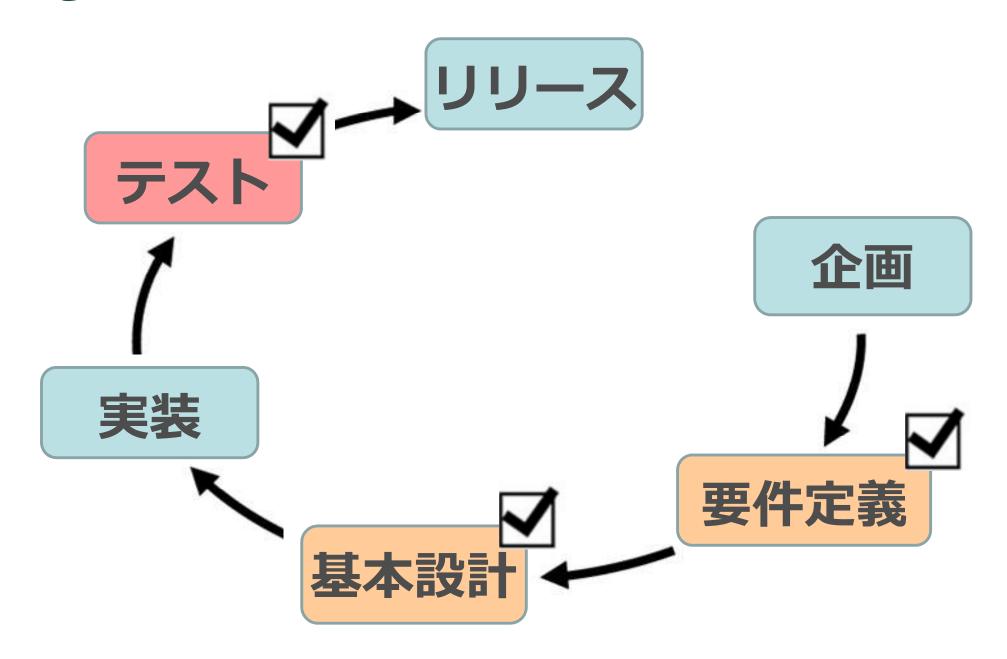
- ・ユーザー問い合わせ対応
- システム導入サポート



開発プロセス



QAによる仕様チェック



上流工程での仕様チェック



要件定義書

基本設計

エンジニアが作成した仕様書

- ・要件を満たした仕様になっているか
- ・影響する機能の考慮漏れがないか
- ・誰がどの状況で使うのか、

理解しやすいか、使いやすいか等

上流工程での仕様改善

·UI変更

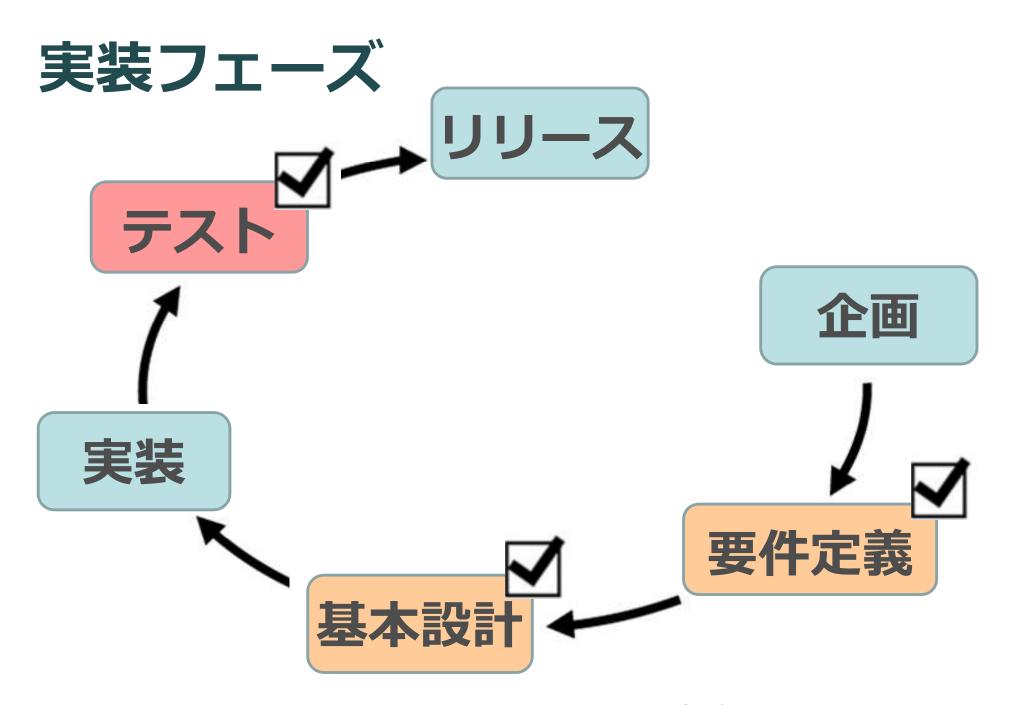
(ボタンの配置、画面の構成等)

・機能変更、追加 (ダイアログ追加、導線変更 等)

• 機能削除

(開発工数に見合わない機能の削除等)

→ エンジニアやサポートチームと相談しつつ、QAが承認するまで改善を繰り返す



※システムテストのテスト設計を実施している

テストフェーズでの仕様チェック



・チェックする内容は上流工程と同じ

※ 実際に使ってみると気づきがある なんとなく使いづらいなー ボタン押しづらいなー次にどうしていいか迷うなー

テストフェーズでも仕様改善

※本当に仕様変更するかどうかはエンジニアやサポートチームと相談しつつ、**QA主動**で検討する

仕様そのものに対する主導権は QAが持っている

どう動くか

- ・発生頻度、影響範囲をもって改善案を出す
- ユーザビリティが向上されるか精査、検討
- ・修正に必要な工数はどれくらいか

→ 最終的に対応するかどうかを判断

どう対応するか

リリースに間に合う

→ すぐに対応

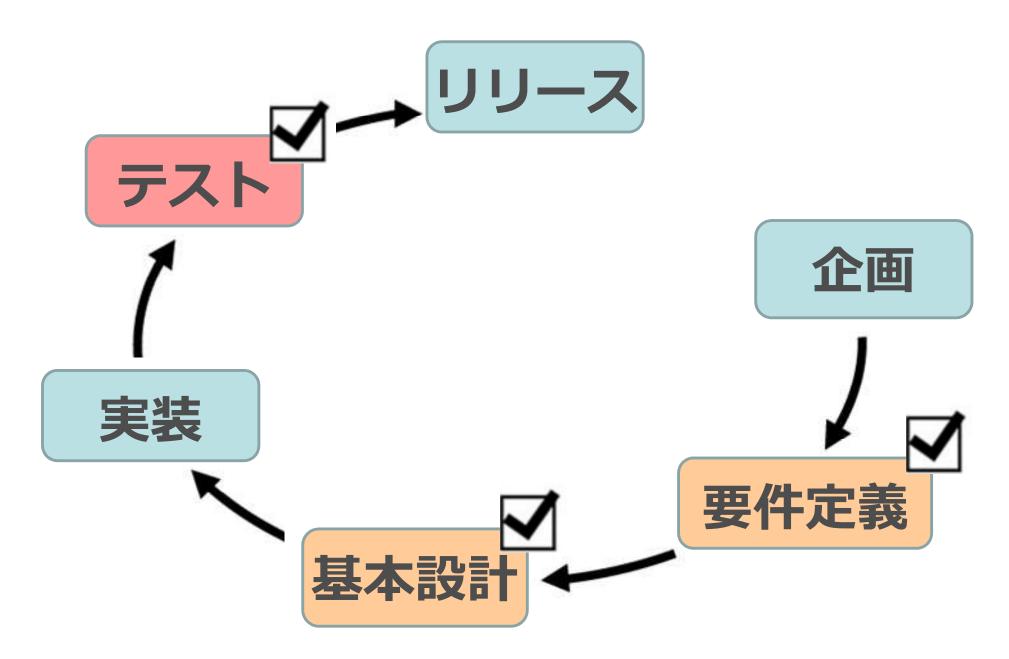
リリースに間に合わない

→ リリース日をずらす

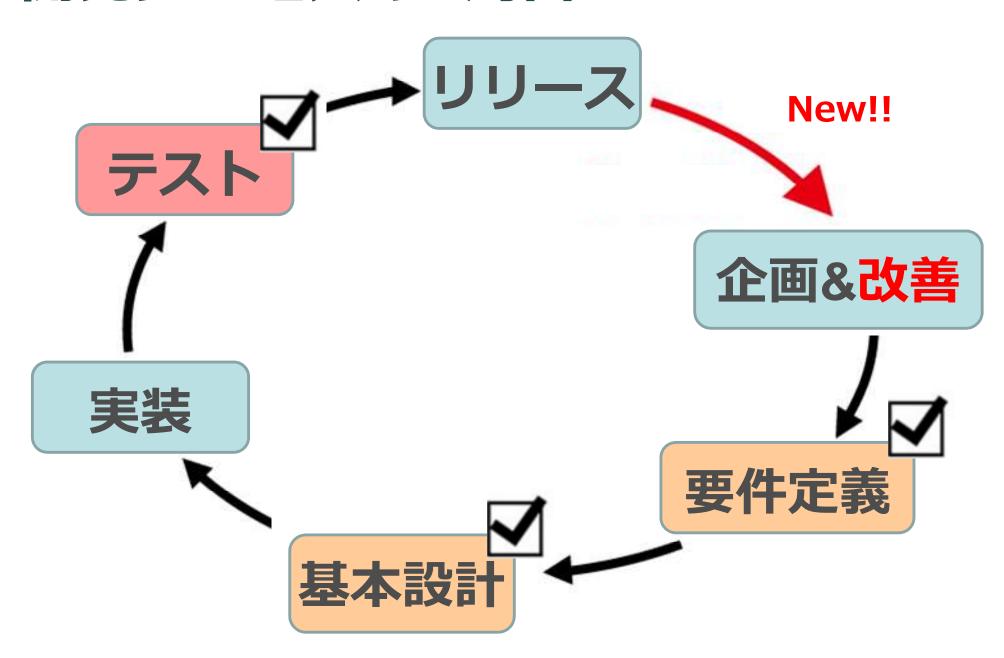
→ 今回のリリースでは見送る

※ここの判断もQAがする

リリース!



開発プロセスの2周目へ

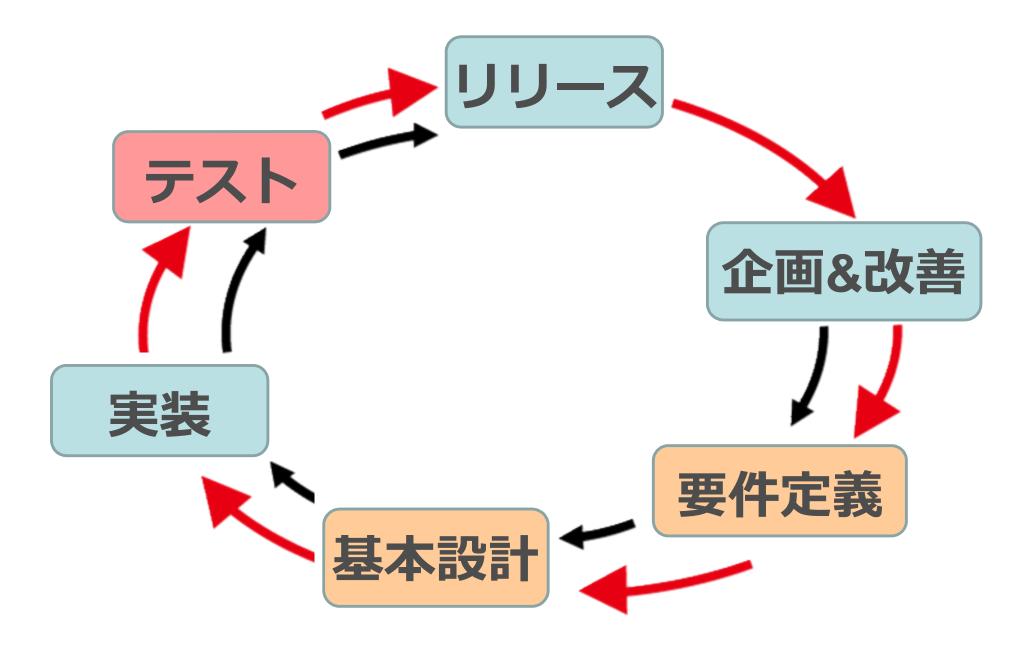


狙い

- ・BtoBtoCなので、そもそもBがないとエンドユー ザーまで届かない
- ・保育士が使ってくれないと機能しない
- → ユーザビリティを向上させ続けないといけない
 - ・保育士の作業負担が減ると写真が増える
 - ・保護者の欲しい写真が増える



仕様を改善しつつ、ぐるぐると



QAがやりたいこと

- ・利用してくれる保育士の作業負担の軽減
- ・保護者が購入写真で家族とのコミュニケーション に役立ててもらうこと





ご清聴ありがとうございました。